



発行所 長野県大町市大町3887番地 大町市老人クラブ連合会 電話 (0261) 22-0420

私たちが高齢者の世紀を

創ろうではありませんか

大町市老人クラブ連合会 会長 内川 三郎



◎離脱

イギリスでの国民投票は、予想を裏切ってヨーロッパ大陸からの政治的離脱を選択した。私は政治問題に言及するつもりはないのですが、かつて七つの海を制した大英帝国の幼児的感性が影響しているのではないかと思ったりする。もしかしたら、制度疲労、国民的疲労を起きているのか。離脱派のある女性は「私の一票などただの一票だから、体制の変化など考えられない。今の不満を鬱憤まぎれて投じた。それがこんなことになるなんて深く後悔している」と。今の制度の不満を後先を考えず自分の感情のみを先行させ、十年先まで見通す洞察力の欠如だと思われる。

◎老連にはそのような傾向はないか。

私、七十七年生きてきた中で、今回の英国のような事例を幾つか見てきたし、諸兄弟も同様であると思います。その一つが老人クラブの衰微現象が上げられると思う。私どもの「大町市老

人クラブ連合会」も発足五十九年目を迎え、途中、大合併もあり、往時は三千七百名余にも及ぶ会員が、老後の健康維持、友愛、社会貢献を旗印に活動されて来られました。

ところが、いつの間にかこの十年来会員数は雪崩的に激減し、本年度は千八百名を割り込んでいる状況です。

高齢化時代になって久しいが、このような現象はどうして生じて来てしまったのであろうか。

理屈的にはにわかに納得、理解することはできません。

今日の老連に魅力を感じていただけない事は甘んじ率直に認めざるを得ませんが、前述の英国的制度疲労が起きているのではないかと危惧するものです。「面倒くさい」「組織に縛られるような気がしてわずらわしい」「他にやることがある」等々と。

◎先般、全国指導者中央研修会が霞ヶ関で開催された。各都道府県から二名の代表が参集し、現状打破のための会議を二日間かけて各県から持ち寄った幾つかの事例を中心にして、多角的見地から検討し合ったが「これはいい」

の策は見出すことは出来ませんでした。自分の事だけで精いっぱい、他人様の老後の生きがいなどに声を上げる事が困難になってしまっているのでしょうか。それほど日本中の高齢者組織の衰微は深刻化していると言えるのです。

◎奉仕精神を呼び戻したい

話しは少しずれるが、私の若い時代には落語、特に「人情話」を聞く機会が多かった。「熊さん」は町中の人気者。困っている人があれば、たとえ火の中、水の中何でもやってのけて代償を求めない。人のためになることが嬉しい御仁たちが大勢いたという良き時代の話です。

夢の話はさておき、自分のためになる事のみ考えて生活している方はおられないと信じます。

ですから「老人憲章」を基本精神に据えて、お一方でも未加入者に声を掛け、市老連の良さをアピールしていただきたく役員として心から希望しています。本年度から、会員の勧誘について、一名につき、該当単位クラブに一千円の報奨金を贈るという老連開闢以来の施策を講じていますが、会員の全体人数は昨年度末に及ばず残念ですが、各位のご努力によって、六月末現在で新入会員は六七名となりました。本年こそ更に楽しいクラブになるよう祈念します。

第五十八回 大町市老人クラブ大会開催

テーマ『のばそう！健康寿命担おう！地域づくりを』

一、会長の挨拶要旨とご各種表彰

五月二十四日、本年度の老人クラブ大会は、サンプラザにおいて百二十余名の会員と金婚者、米寿者をはじめ、各種功労会員を迎えて盛大に開催されました。役員の方々には、午前中より準備作業をしていただきました。鷺沢副会長の開会のことばにつき、内川会長の挨拶がありました。ここでは紙面の都合で詳細は具体的に実践を「老人憲章」に照らして報告いただきました。特に、球技運動をはじめ、小銭募金など各単位クラブの活動に触れるとともに、各クラブの前向きな活動の素晴らしさに賛辞を送りました。

ただ年々減少していく会員について、全国的な傾向ではあるが、百万名会員増強運動に寄せて、大町市老連では窮余の策として独自の手法として新入会員勧誘一名につき、貴重な「小銭募金」の残余金の中から、千円を贈ること等についての報告と各会員の協力依頼がありました。続いて、金婚者、米寿者。他各種を得られる団体個人に表彰状念品が送られました。(別

掲)そして、副市長、県議、議長様より祝いの言葉と老連の発展を期待す挨拶をいただきました。

二、ご来賓各位ご芳名(敬称略)

- 大町市副市長 吉澤 義夫
- 県議会議員 諏訪 光昭
- 保健福祉事務所長 阿部 好正
- 大町市議会議員 二條 孝夫
- 大町警察署生活安全課長 柏崎 延幸
- 大町市教育長 荒井今朝一
- 大町市民生部長 竹本 明信
- 大町市福祉課長 上野 法之
- 八坂支所長 大日方 隆
- 美麻支所長 細井 忠
- 大町市社会福祉協議会長 奥村 剛
- 大町市地区社協会長 柳澤 英幸
- 常盤地区社協会長 川上 満
- 平地区社協会長 駒沢 安正
- 社地区社協会長 宮崎 栄介
- 社地区社協会長 坂井 欽五
- 美麻地区社協会長 飯沢 要
- 大町市民生児童委員協議会長 北原 和好
- 大町市連合自治会長 北沢 孝一
- 長野県老人クラブ連合会会長

池上 弘祥

○大町市老人クラブ連合会顧問

小林 卓一・上條昭雄

慶びの受賞者各位(敬称略)

◎功労クラブ

北原町長寿会、野口百寿会、神楽

町神楽会、シルバードダンスクラブ

◎老人クラブ活動推進功労者

青木正義、三原清、千国絹子、鮎

貝輝章、寺島皆美、縣みえ子

◎百歳賀寿祝者

海川良子(西山南山会)、羽田忠男

(山下福寿会)、藤川毅徳(大塩老人

人クラブ)

◎寝たきり会員介護善行者

江津澄枝(北原町長寿会)、遠藤稔

行(宮本健康会)、深沢慶子(栄町

栄寿会)、原 浄子(館ノ内百寿会)

◎金婚ご夫妻

中村清治・美鶴(大原)、平林清信・

ふく系(同上)、堀内茂男・美枝子(栄

町)、縣勤・みえ子(宮田町)、角健

治・寿美江(上一)、小林正一・充

子(仁科郷)、傳刀竹洋・八千代(借

馬)、帯刀直住・静子(借馬)、傳

刀源重・友江(野口)、内川尚文・

もとみ(山下)、矢口晴彦・紀子(山

下)、外池庄治・磯子(宮本)、松

田行雄・佐都子(同)、中村啓介・洋子(同)、柳澤優・美智子(大塩)、勝野三世一・弓子(清水)、大屋久雄・早苗(同)、川上宗春・勤子(同)、鬼窪定重・敬子(野平)、曾根原敏久・静子(須沼)

米寿者(紙面の都合上ご氏名のみ)

石原かつ子○伊藤喜一郎○宮田喜幸○薄井貞介○倉科清○諏訪武○松田富男○大西隆男○大久保銚香○伊藤武夫○中村千文○中村芳文○伊藤志げ○小林麻枝○清水弘江○飯田セツ子○小宮山寿美子○遠山圭市○両川太士○小林一三○奥原盛男○山崎きみ子○保科きの系○芝波田一美○合津千秋○種山輝



- 子○戸坂勇○柴田浪子○福島サワ子○遠山富男○古沢英宣○古沢郁子○工藤昭子○三村桂一○岡沢兵三○高橋義人○原 崇○中村康人○宮沢喬子○丸山房志○宮田満子○北沢康文○勝野かね子○竹内弘○武内睦子○手塚融○酒井敦子○高橋正美○大前文金○五十川和子○降旗宏子○坂井節子○寺島高教○伊藤嘉治○中島弥志廣○清水あさ子○西澤梅子

アトラクション

大木綾子さん歌謡ショウ

演歌『大糸線』を歌っておいでの東京出身の若手美人歌手をお迎えして、しばし聞き惚れました。

彼女のステージ衣装はピンク、赤紫のドレスで、フロアまで下りてきて、歌いながら多くの会員と握手していただきました。

澄んだ張りのある美声で、有名歌手の曲をカバーしたり、地方色豊かな歌謡を数曲披露していただきました。

特に『大糸線』は期待が大きかった。安曇野の緑や水、そしてアルプスの山々。恋に破れて打ちひしがれている女がこの大自然に触れて生き返る。そしてカラオケの定番になるだろう。そ

んな空想を抱いて拝聴させていただきました。惜しむらくは確かに恋の歌ではありましたが、大糸線の自然が歌い込まれていなかったのは残念に感じたことでした。

『大糸線』を熱唱される大木綾子さん



会員実践発表

宮田町『睦会』女性部の実践

縣 みえ子

私たちの宮田町老人クラブが「体操教室」から「サロン」を立ち上げた経緯について記します。少子高齢化がますます深刻化し「認知症」も比例的に進んでいます。いつまでも健康でいられるように願う私たちは、まず健康体操をしようという事になりました。地域包括支援センターの紹介で講師を招いて体操教室を行うことになり女性会員一人一人に教室の内容を説いて参加を呼びかけました。

週一全十二回の教室となりました。

回を重ねるうちに「上がらなかつた足が、ほれ、上がるようになった!」「スタスタと歩けるようになった」などと元気を回復した喜びが語り合えるようになってきました。また、認知症予防には雑誌を読んだりゲームをして大笑いするなかで「健康相談」を受けるとの大切さを学びつつあります。

健康体操が終わるころ「体操をもっと続けたい。これからは毎週集まりたいネ」との願いが出され、支援センターの栗林さんから『近所ニコニコサロン』が紹介され、早速サロンを立ち上げる会として、若葉会を立ち上げ、高齢者から若い人たちまで誰でも参加できる『会』と決められました。

みんなが主役のサロンという事で班を決め、一つの班を六名として、当番の日は、手作りのお茶うけを持ち寄り美味しく味わっています。

ちなみに、これまでのサロンではやしようま・おやき・お花見弁当実くりスマスケーキ・ちらし寿司などをみんなで楽しみました。「水曜日のサロンが待ち遠しい」とうれしい声が続いています。

これからは、地域の子供たちとの交流です。近所であっても、「どのお子さんだっけ」では困る。これからは

お子さんたちとの交流会を通してこれらの問題を克服していきたいと考えます。そこで、小学校のPTA会長さんに話したところ「ありがたいことで」と賛成していただき、まず最初は公民館を使わせていただき、歓迎会をすることにしました。そして、さつそく町内のお子さんがあるお宅に通知をすることを快諾していただきました。当日は、子供さんたちとゲームをし、肩をたたいてもらったりして楽しい一日となりました。この次からは、公民館の庭に花壇をくつてみんなで植えた」との提案出されました。聞いてみると、市の花づくり活動」の事業に助成金が下ることを知り、今年は締め切られましたが来年度から実施することも決めました。私たちの若葉会、は今、生気にあふれて生き生きとしています。何かしたい時は周りの人に相談することです。サロンでの交流が、身も心も元気にしてくれることを嬉しく感じています。

二十八年度老連役員的人事異動

お世話になった事務局長「唐木修」氏に代わって「長崎喜治」氏が着任。野口会長に「金原昭和」氏が就任致しました。報告いたします

平成二十八年度市町村老人クラブ
中信ブロック研修会に参加して

六月二十四日、県下四地区で開催される右記の研修会が安曇野市穂高で開催された。当市からは理事と正副会長十名が参加しました。

高齢者人口の増加する中で、「仲間づくり・健康づくり・生き甲斐づくり」の場である老人クラブの役割は大きくなっているが、会員の高齢化、後継者不足等によって、会員は減少の一途をたどっている。

そこで、全国老連の掲げる百万人増員計画の中間年に当たることから県老連でも二万名の増強を目指してこれを主題に協議し合った。

参加者約百八十名は五つの主題別班に分散して協議に入った。

- ①後継者づくり
- ②若手高齢者の勧誘
- ③女性部活動の広がり
- ④魅力あるクラブづくり
- ⑤未組織地域への対応

私は「若手高齢者の勧誘」に参加したが、どのクラブにおいても会員の平均年齢は七十五歳〜八十歳超の実情であり、そんな中で若年高齢者が入会を望まれるような魅力あるクラブ活動を展開することが望まれるが、現実的

に非常に難しいのが現実。そこで私たちクラブの「健康友愛・奉仕」の理念を周知させる努力、高齢者としての豊かな経験や知識を生かす中で、仲間を増やし、若い方々が地域社会の担い手となるように願いを外に向けて行こうとする行動実現が何にも勝る手だてではないかと強く感じた。

参加者からは「老人」という言葉が不愉快だという意見があり、名称を変更したら多数名の入会があったとの報告もあった。

また、自治会組織を活用して、六十五歳以上の方は自動的に会員となる区条例をつくっていただいて増員した単位クラブもあり、さらに、入会時は準会員として、一定年間会費の納入を免除し、クラブ活動と一緒にするなど方法もあるとの意見もあった。

会議で答えが見えてきたというものはありませんでしたが、私どもの日常の努力が必須の条件となることは確かでしょう。

わが大町市老連でも会員増強運動年間中に二千三百名までの会員勧誘を目ざして努力を重ねたい。

三十三年の歴史のある栄町も他のクラブの事例に学び、自治会の支援も受けて後継者づくりにまい進していきたい。本研修会で、まだ努力不足がある事を学びました。

栄町栄寿会会長 鷲沢徳司

市老連 本年度の事業

月	事業内容	月	事業内容
4月	理事会、単位クラブ会長会	10月	第43回マレットゴルフ大会
	3部長会合同会議(保体・文化・女性)		長野県老人クラブ大会(松本市)
	ノルディックウォーキング(4月~10月・12回)		第42回老人体育祭
	春の研修旅行「諏訪御柱」		AED取扱講習
5月	わら工芸展	11月	ゆうあいの集い
	第57回大町市老人クラブ大会		中間会計監査
6月	編集委員会	12月	文化祭作品展
	第72回ゲートボール大会		秋の研修旅行
	県老連中信ブロック研修会(安曇野市)		小銭募金(4月から11月)
7月	夏の研修旅行(中止)	1月~3月	保健体育ブロック部長会
	県老連女性指導者研修会(白馬村)		理事会・単位ブロック会長会
8月	第42回マレットゴルフ大会		1月
	理事会、単位クラブ会長会	一人暮らし会員訪問	
9月	保体部長会	2月	水中運動教室(10回)
	編集委員会		市老連幹部研修会
	第73回ゲートボール大会	3月	ゲートボール講習会(10回)
	女性部研修会		編集委員会
通年	寝たきり会員訪問	女性部福祉活動	カラオケ発表会
	「社会奉仕の日」一斉清掃(9/20)	理事会・単位ブロック会長会	
定期(教室)	編み物教室24 ちぎり絵教室24 短歌13 カラオケ教室48 わら工芸12 健康教室24 シルバーダンスクラブ36 (数字は開催回数)		
通年	健康増進活動事業等介護予防教室、健康講座(単位クラブ)、会員加入促進活動		

春の研修旅行は七年に一度の諏訪御柱

木落とし見学

文化部長 大塚由男

平成二十八年年度、市老連の事業出発草々の四月四日、七年度に一回開催される諏訪御柱木落とし現場の豪快さを見学すべく計画を立てました。

参加者を募ったところ、比較的多くの方がこれまでに見学された経験をお持ちでしたので、百名には及ばず、四十名の参加者となりました。

当日は大町発六時に十分、夜来の雨が上がり、シヨボシヨボと雨は降り続いていました。「雨の中の見学じゃあ



たまんねえなあ」「晴天を願って、お神酒をいただきますよ」と早々に始めてしまう方もおり、車内は大変賑やかでありました。

それが天に伝わったのでしよう、茅野市に近づくにつれて小降りとなり、バスを降りる時にはあちこちに青空が見える絶好の見学日和になりました。

さて、これからが見学です。バスを降りて十分くらい歩いて、茅野市の木落とし坂に到着です。

見学場所に近づくにつれて、何やら異様な人々の叫び声のような声がかうねりとなつて耳に響き始めました。

どなたかが「神様のお声だ」という声が仲間列の中から聞こえてきました。私としては初めての経験だったので、そのスケールの大きさに驚きました。まだ見学されたことのない皆さんに、見たままをちよつと紹介しておきましょう。

木落とし坂はスキーのジャンプ台のようになっています。傾斜は三十度を超えているように見えました。御柱が山の頂上から、停止するであろう場所まで数十メートルくらいはあるのではないかとお思われました。

さて、観覧席はというと、これまた驚いたことに、野球場の観覧席のようになっています。

鉄のパイプを組み上げて五段十段と梯子段式に作り、その上に床板を張り、番号のついた椅子席が設置されています。大変立派な施設です。

これが木落とし場を囲むように設けられ、ざつと眺めても何千席あるかわかりませんでした。それがほとんど満席になっていました。

いよいよ木落としの時間が迫ってきました。当日は二回目の木落としだったのですが、山頂には、鉢巻を巻き、オムツを巻いた氏子の皆さんがいます。

まるで何かものに取りつかれてしまっているような様相です。御柱は頭を出すような状態で引き出されました。未だ落ちてこないのは、御柱の末端を「元綱？」で固定されているのだと伺いました。

一段と黄色い声が高まり、木落としの瞬間がせまってきたことを伝えます。山の下からは、元綱が切られるところは見られませんが、大歓声の中、綱は切られたのでしよう、御柱は頭を下に向けて滑り落ち始めました。坂の中腹で待ち構えていた多くの氏子たち

は、一斉に御柱にしがみつこうと柱に向かって走り出したのでした。すごい歓声です。次の瞬間、御柱は勢いよく

坂を滑り落ち始めました。「アツ・アツ・アツ・アツ」ほんの数秒間の出来事です。柱にしがみついている人、跳ね飛ばされてしまった人たち。御柱の周りはアリの巣をかき回したような興奮状態です。しかし、あまりにもあつけなく終わってしまったのは残念でした。

御柱はその後、川を渡り、里引きされて、それぞれのお宮様のお守りになったそうです。

当日は見学後、諏訪湖畔『おぎのや諏訪店』でお土産を買ったり、「諏訪大社上社」を参拝して車上の人となりました。老連の研修旅行は今後も続きますので、ぜひ都合をつけられてご参加いただきたいと思います。



大町市老人クラブ 上社御柱祭 平成28年4月4日

文芸

老連短歌教室

室長 松下 岩恵

歴史概要の紹介

大町短歌会の歴史は古く、百瀬慎太郎先生により始められました。大町駅前には歌碑があります。その後郷土に住いの立派な歌人の方々、近年では山口富永先生のお導きにより今日に至っています。現在会員数は二十一名。本紙上では紙面の都合上、一部の会員の作品のみ掲載します。

大町 北澤純子
ふと父の姿となりぬ夕日差す
青田の畔の草刈る弟

大町 吉澤弘子
サクランボ大木となり鳥たちの
好餌となりて集りて来るを

大町 山口君子
大鯛の姿も見事孫息子
さばく腕前また見事なり

美麻 高橋 功
あやめ咲きこちらの出番頃良しと
くねるさつきに手入れが光る

社 松田富子
紅白のつつじ競いて咲きそろうい
庭の夕べの明るみて見ゆ
常盤 竹村いく子

水張れば畑の蛙田に集い

春の宵待ちちコーラス見事

大町 島 岩子

農具川の辺り歩めば川音と
アヤメつつじに魅了されたり

大町 南部道雄

土に帰らん、幾山河超え来し道の
旅修め愉し想、残し永久の旅立ち

大町 倉科久恵

百歳で故人となりし母親の
遺伝子受け継ぎ今日在りしかと

平 北澤田鶴美

雲低く青田を揺らす風立ちて
日暮れの畔にしばし佇む

平 平林 栄

九州の地震しばらく遠のきつて
友への見舞返事届きぬ

美麻 傘木利也子

雪形が、一望できる校庭で
美麻住民、元気に集う、

美麻 谷 敏子

緑なす弥彦神社の弓道場
審査の弦音森に響いて

平 宮沢登久子

生垣のレッドロビンの新芽伸び
手入れ待ちつつ日毎生長

社 降旗京子

トントんと軽きノックは孫お風呂
今日より此の音感謝で聞かん

県女性部指導者研修会に参加して

美麻支部 小林 正子

七月九日、表記の研修会が白馬村八方会館にて開催されました。参加者は約百名、開会行事は「老人憲章」の唱和にはじまり、県老人クラブ連合会役員のご挨拶があり、続いて大北女性部長、白馬村女性部長の実践事例を通したお話を伺いました。

研修の第一は管理栄養士堀内亜矢子先生の講話でした。テーマは「みんなで取り組む健康づくり」。「信州ACEプロジェクト」(Aは動くこと・Cは健診・Eは食べることの略)でした。現在長野県は健康長寿日本一となつていますが、それは自然の良さからではなく、戦後、脳卒中が大きな健康問題となつていたため、保健指導員制度を整備したり、減塩運動を進めるなど、予防に重点を置いた地域の自主的な健康づくり活動の成果だという事でした。

そして現在の健康課題は脳卒中や心疾患原因となる高血圧・肥満・糖尿病の予防になつているそうです。具体的には、毎日歩き、体操をしたり、家族全員で健康診断を受けること、健康的に食事をする事だそうです。講演を聞き、これからは、こまめに

体を動かしたり、健診は必ず受け、減塩に気を配り、野菜を多く食べるとともに、肉・卵・牛乳もしっかり食べることが健康長寿の基であることが分かったので実行していきたい。

研修の第二は、千代紙を使って名詞やカード入れをつくったり、小物入れを作るなどして、良い作品がいくつも出来たので楽しかったです。おしまいに軽体操をして体をほぐしました。

この度の研修会に参加して自分自身の健康に対する関心を高めることができました。学んできたことは支部の方々にも教えてあげたり、一緒に楽しみながら健康づくりに取り組んで行きたいと思つています。今回の研修会は大変勉強になりました、有意義な一日となりました。感謝申し上げます。



平成27年度 大町市老人クラブ連合会 一般会計決算書(概要)

・収入決算額 3,153,675円 ・支出決算額 2,283,954円 ・差引残高 869,721円

◎収入の部

(単位 円)

項 目	27年度予算額	27年度決算額	説 明
1. 会 費	615,000	625,400	会費 1818名 個人会費 80名
2. 補助金	1,191,000	1,191,410	市 1,126,410円 社協 50,000円
3. 委託金	500,000	500,000	体育祭 300,000円 水中運動 200,000円
4. 諸収入	85,000	86,067	還元金、広告料、水中運動参加費、利息他
5. 繰越金	750,000	750,798	平成26年度繰越金
合 計	3,141,000	3,153,675	

◎支出の部

項 目	27年度予算額	27年度決算額	説 明
1. 会議費	140,000	99,000	理事会、専門部会、編集委員会等会議費
2. 事務費	316,000	192,623	事務用品、通信費、印刷費、慶弔費等
3. 旅費交通費	260,000	250,180	出張旅費、理事費用弁償費
4. 事業費	1,790,000	1,555,051	老連大会費、研修費、文化・体育行事費等
5. 負担金	188,000	187,100	県老連会費 167,100円
6. 積立金	1,000	0	
7. 予備費	455,000	0	
合 計	3,150,000	2,283,954	

平成28年度 大町市老人クラブ連合会 一般会計予算書(概要)

・収入予算額 3,271,000円 ・支出予算額 3,271,000円 ・差引残高 0円

◎収入の部

(単位 円)

項 目	28年度予算額	27年度予算額	説 明
1. 会 費	615,000	645,000	会費 個人会費
2. 補助金	1,176,000	1,225,000	市支出金 社協補助金
3. 委託金	500,000	500,000	市委託事業支出
4. 諸収入	90,000	115,000	還元金、広告料他
5. 繰越金	890,000	700,000	
合 計	3,271,000	3,185,000	

◎支出の部

項 目	28年度予算額	27年度予算額	説 明
1. 会議費	140,000	140,000	理事会、専門部会、編集委員会等会議費
2. 事務費	301,000	316,000	事務用品、通信費、印刷費、慶弔費等
3. 旅費交通費	260,000	260,000	出張旅費、理事費用弁償費
4. 事業費	2,110,000	2,060,000	老連大会費、研修費、文化・体育行事費等
5. 負担金	200,000	200,000	県老連負担金、市集い負担金
6. 積立金	1,000	1,000	
7. 予備費	259,000	208,000	(次年度繰り越しを見込む)
合 計	3,271,000	3,185,000	

スポーツ大会の結果



第72回 ゲートボール大会

6月3日(金)

運動公園陸上競技場

15チーム・約120名参加

優勝 宮本健康会

準優勝 借馬百寿会

第3位 松崎チーム

4勝0敗

4勝0敗

3勝1敗

第42回 マレットゴルフ大会

7月14日(木)

運動公園マレットゴルフ場

約130名参加

優勝 男子

北コース 小林 利治

南コース 新田 一也

準優勝 北コース 清水 澄雄

南コース 関口 幸徳

第3位 北コース 森山 健一

南コース 武井 政雄

優勝 女子

北コース 西沢 幸子

南コース 高橋 公江

準優勝 北コース 北村 文子

南コース 岡崎美知子

第3位 北コース 竹村いく子

南コース 高島 長子

北コース 上 一

北コース 北原町

北原町 69

北原町 62

宮田町 64

宮本 66

神栄町 64

北原町 68

西山 65

西原町 66

下 一 64

南原町 66

大新田町 67

栄町 67

上 一 68

北原町 69

6月2日 都道府県老人クラブリーダー中央セミナー内川会長

3日 第1回ゲートボール大会 120名参加

6日 老連だより92号編集委員会 市役所

7日 ノルディックウオーク④(32名参加)

14日 県老連ブロック研修会10名参加 安曇野市

19日 常盤地区敬老会 内川会長

21日 ノルディックウオーク⑤(23名参加)

19日 平老人クラブ連合会総会 鷲澤副会長

26日 社地区敬老会 内川会長 黒部観光ホテル

7月5日 ノルディックウオーク⑥(28名参加)

6日 豊かな環境づくり大北地域会議総会 飯澤理事

9日 県老連 女性指導者研修会(24名参加) 白馬村

12日 県老連 管理部会 内川会長 長野市

13日 市民ふれあい広場実行委員会 事務局 福祉センター

14日 第42回マレットゴルフ大会(140名参加) 運動公園

16日 大町市暴力追放・交通安全市民大会

19日 ノルディックウオーク⑦(27名参加)

事務局日誌

28年4月~7月

- 4月4日 春の研修旅行 御柱祭(41名参加)
- 6日 健康教室開校式(20名参加) 内川会長
- 7日 八坂支部総会 内川会長 明日香荘
- 11日 会計監査
- 19日 ノルディックウオーク①(49名参加)
- 20日 3部長会議 公民館分室
- 25日 第1回理事会 第1回単位クラブ会長会 市役所
- 5月10日 ノルディックウオーク②(24名参加)
- 10日 わら工芸展(5月17日まで) 市役所ロビー
- 12日 県老連理事会・女性委員会 仁科副会長
- 15日 大町総合病院祭 女性部5名
- 17日 女性代表者会議 仁科副会長 東京
- 24日 第5回大町市老人クラブ大会(200名参加)
- 19日 ノルディックウオーク③(23名参加) 農具側周辺

編集後記

今春は熊本地方に大地震があり、これでもかと言わんばかりの追い討ちの豪雨。誠にお気の毒で、心よりお見舞いを申し上げます。お陰様で安曇地方は今のところ炎熱の日はありませんが、空梅雨の心配さえ感じられます。

さつきが咲き、つつじが咲き、そして今、紫陽花が盛りです。

珍しいことに、今年是我が家の玄関の上にツバメが巣をつくり、子育てをして、このほど巣立っていました。十幾年間も来なかつたのにどうしてかと思う。もしかしたら、熊本で子育てをするはずだったツバメ夫婦がここまでやってきてくれたのかもしれない。それならば本当に嬉しいことなのだが。

老連の事業は、四月早々の「諏訪御柱祭り」見学に始まりました。諏訪の方々の、あのエネルギーシユな力はどこから来るのか。

一丸になれる目標があるからではないか。私も老連でも年々減少している会員の増強運動を展開中であります。しっかりと目標を共有して、お仲間を増やしていけるように努力を重ねて参りたい。

八月を迎えても厳しい残暑があるでしょう。どうぞご自愛ください。

編集長 西澤幸治